

先生のための情報セキュリティ対策

—GIGAスクール対応版—

令和2年度中に、全国小中学校の児童生徒に1人1台端末が配備され、令和3年度からいよいよICT端末が授業で活用されようとしています。

GIGAスクール構想の実現に向け、1人1台端末を活用するために必要なセキュリティ対策や、クラウドサービスのネットワーク構成等の課題に対応するための改定も行われました。

本コースでは情報セキュリティの基本を学び、具体的に教職員が何を行い、何を行ってはいけないかを、ケーススタディを通して、実践的な対策を学びます。

気づきを促し、知識を身に付け、実践（行動）に導く3ステップ！

本コースでは、具体的な事例をもとに自分の行動をシミュレートしながら学習できます。学習を通じて自ら気づき、正しい知識を身につけ、考え方を見直し、正しい行動に導きます。

当事者意識の醸成

具体的な事例と登場人物の会話を見て問題点を認識し、考えを深める

知識の習得

気付いた内容について広く学習し、知識と理解を深める

正しい対応・判断の確認

実践に生かせるよう、ケーススタディで正しい行動を身につける

学習内容 1人1台タブレット設備におけるセキュリティ対策を検討・実施する際に考慮する点

気づく どの学習環境か、使用機器のOSの導入状況などについて、その点と関係性からいかに導入を考慮し、どうするか、ボタンをクリックすると、事例を画面から確認できます。



まとめ フィルタリングに限らず、これまでは学習用の端末は学校内で使用する前提でシステム全体が設計されていることが

先生のための情報セキュリティ対策 GIGAスクール対応版

第4章 1人1台端末におけるセキュリティ

レッスン2 学ぶ (1人1台端末、1人1アカウントの実現におけるセキュリティ対策の再確認)

学習目標 1人1台端末活用、1人1アカウント環境におけるセキュリティ対策

3) 利用する情報システムの多様化に際し

利用する情報システム（例えばクラウドや利用した学習サイトなど）が多くなると、それにより、クラウド、クラウドサービスなどが増えるという点、利用者の（利用者の）セキュリティ意識を高める必要がある。これにより、クラウドサービスなどが増えるという点、利用者の（利用者の）セキュリティ意識を高める必要がある。これにより、クラウドサービスなどが増えるという点、利用者の（利用者の）セキュリティ意識を高める必要がある。

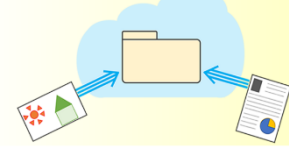


まとめ 1人1台端末活用、1人1アカウント環境におけるセキュリティ対策

学習内容 外部サービスの利用について

実践 このレッスンでは、外部サービスの利用について、ケーススタディをもとに考えます。自分ならどうするか、よく考えて答えを出してください。

A先生は、クラスの全員に向けた課題の出席や連絡事項の通知、生徒会費で作品やレポートなどを共有するためにどうしたらよいかを考え、オンラインストレージを使うことにしました。学校で用意されているものがありましたが、プライバシーで使い回されている無料のもの、クラス用にA先生個人で利用登録しようと考えました。



まとめ 「使い回している」「無料だから」などと安易に利用することは大きな問題を引き起こすことにもつながる可能性があります。

自分に足りない知識は何か？セルフチェックで確認しながら学習

コース内でセルフチェック（アンケート）を実施し、自分の今の状況を客観的に確認することができます。受講者の認識が可視化され、自分に足りない部分を意識しながら学習を進めることができます。

受講状況を確認できる管理機能は無料でご提供

クラウド型サービスなので、システム運用・管理は一切不要。受講登録、開講通知、進捗状況に応じた促進メールの送信もネットラーニング社が行います。

また、管理機能から受講データを取得し、研修報告が可能です。

本コースのセミカスタマイズも短期間・低価格で制作

コース内容の一部変更や追加、自治体ポリシー、学内規定・体制、関連法規などの掲載、首長や学校長名での修了証書の作成等が可能です。短期間・低コストでオリジナルのコースを作成できます。

※カスタマイズ料金は、別途、個別御見積となります。お問い合わせください。

先生のための情報セキュリティ対策

—GIGAスクール対応版—

コース概要

◆ 学習目標：

- ・ 初中等の現場で情報を扱う際のリスクについて学習し、理解する。
- ・ 情報漏えいを起こさないため／起こしてしまった際の適切な行動がわかる。

イントロダクション（ガイドラインの概要と解説）

セルフチェック1 情報セキュリティ対策は万全ですか？

第1章 機微情報の保管と管理

レッスン1 気づく（機微情報を正しく保管し管理しているか）

レッスン2 学ぶ（保管や管理方法）

レッスン3 実践（機微情報の管理）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

第2章 児童生徒などが機微な情報にアクセスするリスク

レッスン1 気づく（パスワードの漏えい）

レッスン2 学ぶ（アクセス権限のない者からのアクセス対策）

レッスン3 実践

（機微情報や端末、パスワードの管理運用方法）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

第3章 インターネット利用におけるセキュリティリスク

レッスン1 気づく（悪質サイトへのアクセス）

レッスン2 学ぶ（インターネット上の脅威）

レッスン3 実践（インターネットアクセス上の留意点）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

第4章 外部への情報資産の持ち出しリスク

レッスン1 気づく（コンピュータや記録媒体の持ち出し）

レッスン2 学ぶ（外部へ機微情報を出すリスク）

レッスン3 実践（情報を持ち出す場合の留意点）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

第5章 情報セキュリティインシデントが起こった場合の対処

レッスン1 気づく（インシデントが発生した場合の行動）

レッスン2 学ぶ（対処ルール策定と対応体制）

レッスン3 実践（初動で被害を最小限にとどめる）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

第6章 1人1台端末におけるセキュリティ

レッスン1 気づく

（学外での利用を考慮したセキュリティ対策の課題）

レッスン2 学ぶ

（1人1台端末、1人1アカウントの実現における
セキュリティ対策の再構築）

レッスン3 実践

（クラウドなどいろいろなシステムを利用する際のルール）

章のまとめ

テスト - 確認テスト

セルフチェック2 「もしものとき」に備えよう

総合テスト、コースレビュー

FAQ、用語集

付録A：コースポイント集、チェックリスト

■ 対象者：小中高校の教員/事務職員

■ 標準学習時間：1時間程度

■ 受講期間：6カ月（+ 閲覧期間6カ月）

■ 前提知識：特になし

■ 監修者：竹中 章勝

株式会社テイクオーバー代表取締役／一般社団法人教育機関の情報環境構築と人材育成協議会理事／教育情報化コーディネーター

- ✓ モバイル（タブレット端末）でも学習できます。※スマートフォンについてはお問い合わせください。
- ✓ 本コンテンツをMoodleなどの学内LMSでご利用いただけるSCORM1.2対応版もご用意いたします。
- ✓ アカデミック価格やボリュームディスカウントプランなどの料金はお問い合わせください。

- アカデミック価格の適用の範囲は、学校に在籍する生徒・学生および教職員・事務職員とします。
- 学校とは、学校教育法第1条および第82条の2、83条で定められた学校とします。

NetLearning®

株式会社ネットラーニング

株式会社ネットラーニング 教育事業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-4 新宿喜楓ビル3F

Tel : 03-5338-3011 Fax : 03-5338-7422

URL : <https://www.netlearning.co.jp/> E-mail : edu_sales@nl-hd.com